お　知　ら　せ

神戸において、新たな石炭火力発電所の試運転が開始されました

神戸はどんなまち？

海と六甲山に抱かれた、日本有数の港まち、洋菓子のまち、異国情緒あるまち…として全国的に有名な神戸のまちに愛着を持っている方も多いと思います。しかし、違った一面があります。**「石炭火力のまち」**であることを知る人は少ないかもしれません…

今、地球環境を考えるうえで、大きな問題となっている**石炭火力発電所**が、神戸において**新たに運転を開始**しようとしています。発電所がもたらす環境への影響は大きなものです。

次の世代に魅力ある神戸をつなぎたい

神戸のまちを持続可能で、魅力あるまちとして、次の世代に引き継ぎたいと考え、石炭火力発電所の建設について、市民、行政、企業へ問題提起をしてきました。

毎日の生活に欠かすことのできない「電気」を、どのように作るかは、今を生きる私たちだけの問題ではなく、**将来世代が暮らす地球環境へも大きく影響**します。

私たちは、次の世代により良い環境を引き継ぐためには、社会の仕組みを変える必要があると考えています。神戸の石炭火力問題を考えるにあたって、必要な情報をとりまとめました。問題を一緒に考えるきっかけになれば幸いです。

灘浜にある神戸製鋼所の神戸発電所
2022年度には2基→4基になる予定

3号機：2021年5月5日 火入れ
2022年1月　営業運転開始予定
4号機：2022年度中　営業運転開始予定

神戸の環境と石炭火力問題について

- Q1:神戸の空気を汚すのはだれ？
- Q2:神戸に石炭火力発電所が増えるとどうなる？
- Q3:いつまでに石炭火力をやめないといけないの？
- Q4:日本にどれだけ石炭火力発電所があるの？
- Q5:最新型の石炭火力は環境に良いのでは？
- Q6:神戸の石炭火力発電所ってどこにあるの？

詳しくは裏面から

未来を変えるため
なにができる？

編集・発行：神戸の石炭火力発電を考える会（https://kobesekitan.jimdo.com/）

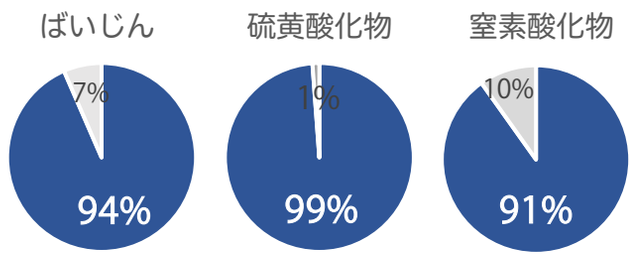
Q1:神戸の空気を汚すのはだれ？

神戸製鋼所は、神戸市における
大気汚染物質の、**最大排出源**です。
※自動車等を除く。

神戸市は、一定規模以上の事業所と環境保全協定を締結しています。対象事業所に占める排出量割合を見てみると、神戸製鋼所が大部分を占めていることが分かります。

データ出典：神戸市平成30年度（2018年度）環境保全報告書等から推計

神戸市と環境保全協定を締結している事業所
（１０７事業所）に占める神戸製鋼所の排出量の割合



いずれの物質も、**PM2.5**の生成と関連する。
※四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

Q2:神戸に石炭火力発電所が増えるとどうなる？

大気汚染物質、温室効果ガスの排出量が、増える

化石燃料を燃焼させる火力発電所からは、人体に有害な大気汚染物質、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出します。特に石炭火力発電所は、環境への影響が大きな発電所です。
神戸市において、石炭火力発電所が、2基→**4基**になることで、増える影響を示します。

3-4号機　稼働後の年間総排出量（年間）

単位:t	現状 2007-2016	将来 稼働率80%	増加率
硫黄酸化物	426～520	706	136%
窒素酸化物	936～1334	1457	109%
ばいじん	45～142	199	140%

住民説明会において、**「総排出量」**を質問した際に、排出を**「濃度で低減する」**として、質問内容をすり替え、適切に回答しませんでした。

神戸発電所の温室効果ガス排出量（年間）

１-２号機　690万トン-CO_2
３-４号機　692万トン-CO_2

合計　１３７２万トン-CO_2
※直接排出量

神戸市からの年間CO_2排出量

809万トン-CO_2
※間接排出量

４基の石炭火力発電所からは、神戸市からの
年間排出量を上回る温室効果ガスが排出される。

データ出典：神戸市環境影響評価審査会資料　第161 回 神戸市環境影響評価審査会 No.18
神戸市域の温室効果ガス排出状況2018年度（平成30年度）（神戸市全体）

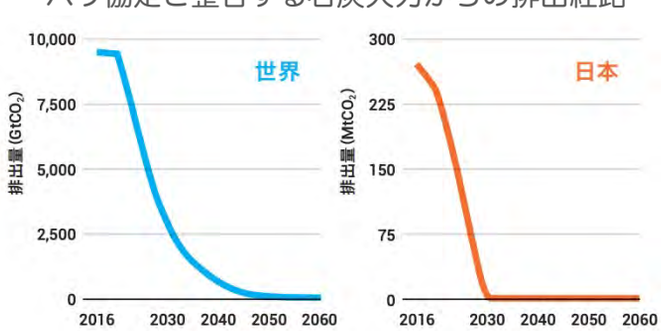
Q3:いつまでに石炭火力をやめないといけないの？

石炭火力は、世界で**2040年**　日本では、**2030年に全廃が必要**

2020年10月、国会で**「気候危機」**が宣言されました。気候危機を回避するには、**温室効果ガスを大幅削減する必要**があります。国連のアントニオ・グテーレス事務総長は、気候危機をうけ、各国の削減の取り組みを加速するように要請しています。
世界において主要排出源である**「石炭火力」**について、期限を切って**撤退**することを要請しています。

> **“先進国が2030年までに、ほかの国は40年までに、石炭火力から撤退する必要がある。石炭火力発電所の新設を正当化できる場所はどこにもない。”**
> (日経新聞2021/4/21)

パリ協定と整合する石炭火力からの排出経路



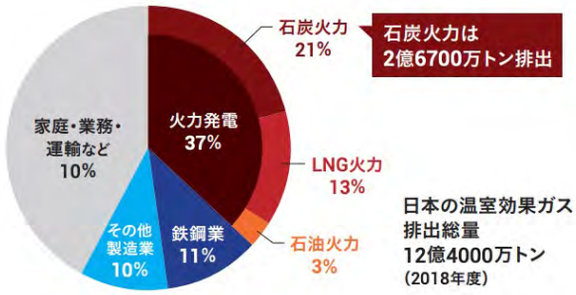
2050年には、「実質排出ゼロ」を実現する
人間活動による排出と吸収をバランスさせる必要

データ出典：Climate Analytics「パリ協定に基づく石炭火力フェーズアウト」2018, より作成

Q4:日本にどれだけ石炭火力発電所がある？

現在、日本には**161基**もの、石炭火力発電所が稼働中です。
そして、新たに**9基**の石炭火力発電所が建設中です（2021/5/1時点）。
石炭火力発電所は、約40年間も運転を続け、大気汚染物質、温室効果ガスの排出を続けます。
今、環境への影響が大きな石炭火力発電所を大規模に建設しているのは、**先進国で日本だけ**です。

また、日本の温室効果ガスの排出割合でも、火力発電所のなかで最大の排出源になっています（右グラフ）。



火力発電で石炭火力は**最大の排出源**

データ出典：Japan Beyond Coal　ファクトシート 石炭火力発電の問題

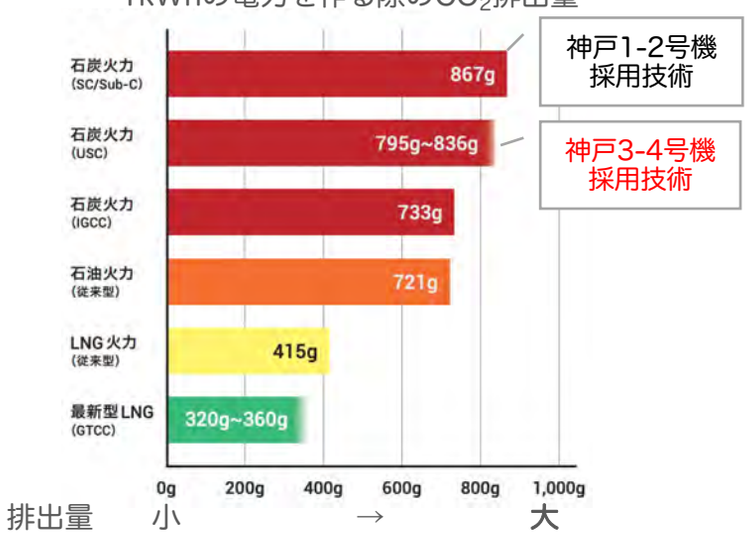
Q5:最新型の石炭火力は環境に良いのでは？

石炭火力発電は、最新型であっても、
ガス火力の**2倍のCO_2を排出**をする発電所です。
「高効率」「最新型」と事業者は説明しますが、**もともと温室効果ガスの排出が多い石炭火力**発電所のなかでの比較でしかありません。

Q：旧式の石炭火力発電所を新型に置き換えることで、環境改善に寄与するのでは？
A:大気汚染物質、温室効果ガスの排出が僅かに改善されますが、気候危機の解決には十分ではありません。求められているのは、**温室効果ガスを排出しない「脱炭素」**です。

Q：CO_2を回収する設備がついているのでは？
A：発電所から排出されるCO_2を回収し、地中に埋めるCCS（Carbon dioxide Capture and Storage ）と呼ばれる技術開発が進められています。しかし、回収設備がついた大規模な発電所は、**日本には存在しません。**

1kWhの電力を作る際のCO_2排出量



データ出典：Japan Beyond Coal　ファクトシート 石炭火力発電の問題

Q6:神戸の石炭火力発電所ってどこにあるの？

神戸市の住宅密集地に立地しています。
集合住宅から、わずか400mです。

私たちに、なにができる？　できることがあります！

神戸の新たな石炭火力発電所は、5/5より、本格運転に向けて動き始めてしまいました。
しかし、私たちは地域の環境、地球環境を守るために諦めてはいません。
石炭火力発電所を止めるためには、まだできることがあると考えています。
もし、あなたが少しでも、「なにかしてみたい」と思ったら、なにか一つ行動してみませんか？
このチラシを通じた出会い、一人ひとりが行動することは、未来を変えることにつながります。

1:身近な人に計画について話をしてみる

私たちの活動が力不足なこともあって、**石炭火力発電所が建設されることを知らない人も多く居ます。**
「神戸に石炭火力発電所があるって知ってる？」って、何かの機会に家族、友人に尋ねてみていただけませんか？
もし、「知らない」と答えられた時…あなたは、このチラシで学んだことを優しく伝えてくれると嬉しいです。

2:SNSでフォローしてみる

誰かに広めるのは、いきなりハードルが高いという方…もし、Facebook、TwitterなどのSNSを使われていたら、**「神戸の石炭火力発電を考える会」**のアカウントを覗いてみてください。そして、もしよかったら、フォローしてくれませんか？応援されている気がして（勝手に）、活動の励みになります。

@kobecoalfiredpowerplant　@kobesekitan　You Tubeチャンネル 神戸の石炭火力発電を考える会

3:裁判の傍聴に参加してみる

SNSは苦手…そんな方は、**裁判の傍聴に参加**してみませんか？環境への影響が大きな石炭火力発電所を建設することを認めることはできないと、神戸市民40人が原告となって、裁判を提起しました。環境を守る代表選手の気持ちで、原告の方々は裁判所で訴えています。（場所は、神戸地方裁判所、大阪高等裁判所です。）
裁判は、誰でも傍聴することができます。裁判所へ来たことが無い人は、大人の社会科見学の気持ちで、様子を見に来てください。難しいこと、分からないことは、弁護士が解説してくれる報告会もあります。

神戸石炭訴訟
Kobe Climate Case

4:電気の購入先を切り替えてみる

裁判所へ行くにはハードルが高い、時間がない…という方は、電気の購入先を切り替えてみませんか？
神戸の石炭火力発電所で作られた電気は、全て**「関西電力」**が買い取り、消費者に供給されています。私たちは電気の購入先を選ぶことができます。つまり、**関西電力以外からも電気を買うことができます。**
再生可能エネルギーの比率が高い電力を供給してくれる電力会社に切り替え、汚い火力発電所からの電気を買わないという意思表示をすることができます。切り替え先は、環境NGOがオススメの電力会社をまとめています。
今の電気料金と比較しながら、切り替えの検討をしてみてください。地域に根ざした再エネ会社が紹介されています。

パワーシフト power-shift.org

5:再生可能エネルギーを進める政党に投票する

経済的、お住いの設備等の事情で、電力会社に切り替えることが難しい…そんな方は、選挙の際に有権者として、**再生可能エネルギーの普及を進めてくれる政党に投票**してみませんか？国の政策が変わることで、今より再生可能エネルギーが普及し、量が増え、価格が安くなることで、誰もが使いやすくなる社会を実現することにつながります。

【お問い合わせ】
神戸の石炭火力発電を考える会　メール　kobesekitan@gmail.com　TEL:080-2349-0490
（発行：2021.05）